

令和8年度第1回せたな警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和8年7月16日（木） 午前10時49分から午前11時50分までの間

2 開催場所

函館方面せたな警察署 2階会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 ～ 4名（定員5人）

会 長	土 橋 直 美
委 員	藤 谷 篤
委 員	安 藤 健 次
委 員	下田屋 守

(2) せたな警察署 ～ 4名

署 長	宮 下 賢 一
副 署 長	荒 川 淳
刑事・生活安全課長	泉 山 久美子
地域・交通課長	平 澤 元 樹

4 会長挨拶

今回の協議会では、せたな警察署管内の交通事故抑止対策について、昨今の交通事故発生実態やその特徴点の理解を深め、警察組織のあるべき姿という視点から、意見・提案を述べていきたいと思います。

5 署長挨拶

この春以降の管内の交通事故発生傾向を見ると、『単独、帰り道、眠気・脇見、高齢者』が対策のキーワードと感じております。

これまで、幸いにして重大な結果は生じていませんが、夏の交通安全運動期間中、全道交通死亡事故多発警報発令中という現状を踏まえ、各種事故抑止対策、取組を推進中です。

委員の皆様には、忌憚のないご意見をお願いします。

6 業務概況説明

令和8年1月～6月における犯罪発生状況、交通事故発生状況について説明

7 諮問事項

(1) 管内の交通事故抑止対策について

ア 諮問事項の説明

4月以降、せたな警察署管内における交通事故の特徴として、

①車両単独事故の割合が多い

②高齢ドライバーの割合が多い

③道道八雲北檜山線における交通事故発生実態

などについて説明した。

イ 委員の意見

（委員）

道道の交通事故発生時間帯は。

(警察)

日中時間帯であり、長距離運転時の注意力低下に起因しているように思われることから、疲れを感じたら小まめな休憩をとることを推奨する。

(委員)

出発直後や目的地まであと少しという、あせりや気の緩みがあるのかもしれない。

また、休憩をとる際の道路環境、休憩場所、駐車帯の整備なども必要である。

(委員)

道路標示（中央線や停止線）、道路標識や注意標識、案内表示など、経年劣化で薄れていたり、夏場は木の枝で視認性の悪いところが散見される。

道路管理者の説明があったが、警察をはじめ、関係機関が連携してドライバーが運転しやすい道路環境をしっかりと整備してもらいたい。

(委員)

山間部の道路では、鹿など動物の飛び出しも不安

(委員)

町内で警察のパトカーが取締りしている様子をよく見かける。

警察の姿を見ると、やはり気持ちが引き締まり、違反や事故の抑止になっていると思う。

(委員)

飲酒運転防止の啓発として、酒類提供罪など、飲食店への働き掛けを行い、もっともっと住民に浸透させるべき。住民ひとりひとりの意識向上が大切

我々も商工会等を通じて住民間でも飲酒運転根絶の機運を醸成したい。

(警察)

委員意見のとおり、道路環境の改善向上のため、気になる点があれば、遠慮なく情報提供願いたい。

注意喚起の啓発をはじめ、警察署、警察本部、関係機関（自治体、各道路管理者等）が連携して、今後も、よりよい交通環境の構築、改善に努めてまいります。

(2) その他

北海道警察官採用募集に関する広報を行った。

8 次回の開催予定

令和8年11月頃を予定

(※署名欄省略)